

長岡崇徳大学同窓会 2022年度 事業報告

【自：2022年11月1日～至：2023年3月31日】

今年度は、長岡崇徳大学同窓会の立ち上げを教職員の協力を得ながら役員を中心に行った。2022年度事業についても順調に行えたと考える。各事業について次のとおり報告する。

1. 組織運営に関する事業

(1) 同窓会の立ち上げ（新規）

同窓規約の作成や同窓会講座の設立、役員を選出等行った。次年度以降も長岡崇徳大学と連携し、引き続き同窓会組織の強化を行っていく。

(2) 同窓会費納入に関する情報発信（新規）

11月に終身会費の納入の周知を2022年度卒業生に対して行い、12月中の納入を目指したが納入率は50%にとどまった。来年度以降納入率の向上に向けて対策を行う必要があると考えられる。未納入の卒業生に対しては第1号同窓会報の中で、再度情報発信を行った。

(3) 同窓入会に関する情報発信（新規）

11月に同窓会の立ち上げの周知を2022年度卒業生に対して行った。同窓会の入会・会費の納入について反対意見も多くあった。そのため、同窓会組織の説明や会則・活動方針の変更を行い同意を得ることに努めた。本年度新規入会者は38名。

2. 会員相互の連携・親睦および相互の研修・向上を図る事業

(1) 同窓会報の発行（新規）

第1号を3月に発行（50部）し、卒業式での卒業生への配布を行った。会報には、教職員の方々からの卒業生へのメッセージ、2022年度卒業予定者の進路・就職内定先一覧、決算報告、同窓会の活動の紹介、お知らせを掲載した。同窓会報を在学時の思い出を振り返りや看護職として働いている中で挫折してしまった際に見返し、力を貰えるものとしたと考えているため来年度以降も内容の充実を行っていく。

3. 母校の発展・教育振興に関する事業

(1) 教職員の方々へ感謝としての菓子折りを贈る事業（新規）

教員・職員それぞれに菓子折りを3月に贈呈した。退職後、長岡を離れる教職員の方も多かったため長岡にちなんだお菓子（長岡花火パイ）を同窓会として贈った。卒業企画実行委員も同じような企画を行っていたため、来年度以降は事業の継続は行わない方向性とする。

以上